



勅令第十號
各省官制
通則

明治十九年三月二十六日
内閣總理大臣伯爵伊藤博文



朕各省官制之改訂
裁可之ヲ公布セシム

大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

414
A2621



第一條 此命令中各省トアルハ外務省内務省大蔵省陸軍省海軍省司法省文部省農商務省逓信省ヲ合稱ス
此通則ニ依リ難キモノハ其省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第二條 各省大臣ハ其主任ノ事務及今後法律勅令ニ依リ主任ヲ屬スル事務ニ付其責ニ任ス
主任事務兩省以上ニ關涉スルトキハ關涉ノ各省大臣ノ間ニ協議ヲ經テ其主任ヲ定メ上奏スヘシ
若シ各省大臣ノ間協議決定セザルトキハ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

第三節 各省大臣事務ノ分配
各省大臣事務ノ分配ハ其主任ノ事務及今後法律勅令ニ依リ主任ヲ屬スル事務ニ付其責ニ任ス

第三條 各省大臣事故アルトキハ臨時命ヲ承テ
他大臣其事務ヲ代理スルコトアルナリ

此條ハ各省大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ

第四條 凡ソ法律勅令ノ各省大臣主任ノ事務ニ屬
スルモノハ各省大臣内閣總理大臣ト均シク之ニ副署
ス若シ兩省以上ニ關涉スルモノアルトキハ内閣總理大
臣及關涉各省大臣均シク之ニ連署スヘシ

閣議ニ出スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ
其大臣ノ職務ニ關スル事ニ關シテハ

第五條 各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付法律勅令ノ制定廢止及改正ヲ要スルコトアルトキハ案ヲ具シ閣議ニ提出スルコトヲ得

第六條 各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付其職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律勅令ノ範圍内ニ於テ法律勅令ヲ施行シ又ハ安寧秩序ヲ保持スル為ニ省令ヲ發スルコトヲ得

各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付其職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律勅令ノ範圍内ニ於テ法律勅令ヲ施行シ又ハ安寧秩序ヲ保持スル為ニ省令ヲ發スルコトヲ得

第七條 各省大臣、命令、罰金二十五圓以下
又、禁錮三十日以内、罰則ヲ附スルコトヲ得

各省大臣、法律、勅令、範圍内ニ於テ其
省中各局課及其所轄官廳ノ處務細則ヲ
定ムルコトヲ得

第八條 各省大臣、法律、勅令、範圍内ニ於テ其
省中各局課及其所轄官廳ノ處務細則ヲ
定ムルコトヲ得

各省大臣、法律、勅令、範圍内ニ於テ其
省中各局課及其所轄官廳ノ處務細則ヲ
定ムルコトヲ得

第六條 法律勅令ニ副署シ省務ヲ敷奏シ内閣
議ニ列シ及省令ヲ發スルコトヲ除ク外各省大
臣ハ其職務ヲ次官ニ代理セシメ又ハ其職務ノ一
部ヲ次官ニ委任スルコトヲ得

第六條 法律勅令ニ副署シ省務ヲ敷奏シ内閣
議ニ列シ及省令ヲ發スルコトヲ除ク外各省大
臣ハ其職務ヲ次官ニ代理セシメ又ハ其職務ノ一
部ヲ次官ニ委任スルコトヲ得

第七條 各省大臣ハ其任事務ニ付敬言視總監
北海道廳長官府知事縣令ニ指令又ハ訓
令ヲ下スコトヲ得

第七條 各省大臣ハ其任事務ニ付敬言視總監
北海道廳長官府知事縣令ニ指令又ハ訓
令ヲ下スコトヲ得

第十八條 各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付敬言視總
監北海道廳長官府知事縣令ヲ監督スヘシ若シ
敬言視總監北海道廳長官府知事縣令ノ處分又
ハ指令ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモ
ノアリト認ムルトキ其處分指令ヲ停止シ又ハ取消ス
トヲ得

今ノ下ノイハレ
北前道廳長官府知事縣令ニ付敬言視總監
各道大臣ハ其主任ノ事務ニ付敬言視總監

第十九條 各省大臣所部ノ官吏ヲ統督シ奏任
官以上ノ進退ハ內閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上
奏ニ判任官以下ハ之ヲ專行ス

前條ノイハレ
各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付敬言視總監

第十三條 各省大臣、内閣總理大臣ノ經テ
所部官吏ノ敘位叙勲及恩給ヲ上奏スヘ
シ

各省大臣、内閣總理大臣ノ經テ
所部官吏ノ敘位叙勲及恩給ヲ上奏スヘ
シ

第十四條 各省大臣、内閣總理大臣ノ經テ
所部官吏ノ敘位叙勲及恩給ヲ上奏スヘ
シ

各省大臣、内閣總理大臣ノ經テ
所部官吏ノ敘位叙勲及恩給ヲ上奏スヘ
シ

第十五條 各省大臣豫算決定後臨時ニ増額又ハ別途支出ヲ請求スルコトヲ得ス但臨時ノ事變及他ノ成規ニ依リ止ムラ得サルモノハ此限ニアラス

各省大臣豫算決定後臨時ニ増額又ハ別途支出ヲ請求スルコトヲ得ス但臨時ノ事變及他ノ成規ニ依リ止ムラ得サルモノハ此限ニアラス

第十六條 各省大臣ハ俸給豫算額内ニ於テ典省限り定員ヲ設ケ判任官ヲ任用スルコトヲ得

各省大臣ハ俸給豫算額内ニ於テ典省限り定員ヲ設ケ判任官ヲ任用スルコトヲ得

第十七條 各省大臣、臨時ノ須要ニ依リ判
任官定員ノ外ニ俸給豫算定額内ニ於テ雇
員ヲ使用スルコトヲ得

凡そ各省ノ定員ノ額ハ臨時ノ須要ニ依リ判
任官定員ノ外ニ俸給豫算定額内ニ於テ
員ヲ使用スルコトヲ得

第十八條 各省大臣、其主任ノ事務ニ付
時々ノ狀況ノ内閣總理大臣ニ報告ス

各省大臣、其主任ノ事務ニ付
時々ノ狀況ノ内閣總理大臣ニ報告ス

第十九條 各省大臣、毎會計年度末ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ内閣總理大臣ノ經テ報告書ヲ上奏ス、

第二十條 各省大臣、毎會計年度末ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ内閣總理大臣ノ經テ報告書ヲ上奏ス、

第十五條 各省大臣、毎會計年度末ニ於テ州府官以下使用ノ狀況ヲ具、臨時事務ノ為ニ使用シタル雇員ノ日數人員及金額ヲ細分統計シ内閣總理大臣ニ報告ス、

各省大臣、毎會計年度末ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ内閣總理大臣ノ經テ報告書ヲ上奏ス、

第~~十~~^{十六}條 各省大臣ハ一週年末ニ其省ノ
豫算定額内ニ於テ奉仕官以下特別ノ勤
勞アル者ヲ賞賜シ之ヲ官報ニ公録スルコ
トヲ得

第~~二十~~^三條 各省大臣ハ所部ノ官吏ヲシ
テ他省ニ涉リ又ハ他省ヨリ兼官セシマルコ
トヲ得ス若シ止ムヲ得サル要ナルトキハ之
ヲ閣議ニ提出シテ裁可ヲ請フヘシ

ルニイテ
各省大臣ハ所部ノ官吏ヲシテ他省ニ涉リ又ハ他省ヨリ兼官セシマルコトヲ得ス若シ止ムヲ得サル要ナルトキハ之ヲ閣議ニ提出シテ裁可ヲ請フヘシ

第^{十七}條 各省大臣ハ臨時審査ノ爲メ
省中定員ノ内ヲ以テ便宜委員ヲ設ク
ルコトヲ得

~~各省大臣ハ臨時審査ノ爲メ
省中定員ノ内ヲ以テ便宜委員ヲ設ク
ルコトヲ得~~

第^{十八}條 各省大臣ハ法律勅令ノ定ムル所ニ從
ヒ部下ノ官吏ヲ懲戒ス

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

第十九條

各省職員ヲ置ク左ノ如シ

- 次官
- 秘書官
- 書記官
- 局長
- 參事官
- 課長
- 試補
- 屬

第二十六條

前條ノ外各省特別ノ職員ヲ置クモノ

ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム
 其職務ヲ代理セシムルコトヲ得

各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム
 其職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第二十七條 各省次官一人ヲ置ク勅任トス

ハ各省、皆ニ設ケ、之ヲ置ク
第二十八條 前部、在各省、特派、人員、ヲ置ク

第二十八條 次官ハ、主任大臣ノ命ヲ承ケ第九條ノ範圍内ニ於テ大臣ノ職務ヲ代理シ又ハ大臣ノ指令ニ於ル範圍内ニ於テ委任ヲ受ク
次官事故アルトキハ大臣具省中ノ官吏ヲシテ臨時其職務ヲ代理セシムルコトヲ得

ハコトモ
第二十九條 各省ハ大臣ノ所野イ、公及ニ委任ス

第二十九條 次官ハ大臣ノ代理トシテ公文ニ署名ス
ルコトヲ得

其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ

第三十條 次官ハ總務局長トナリ命ヲ大臣ニ
承ケ各局課ノ事務ヲ監督シ省務ヲ全部ヲ
整理スル責ニ任ズ

其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ
其職務ハ大臣ノ委任ニ依リテ之ヲ行フ

第二十五條

各省ニ大臣官房ヲ置ク大臣官房ハ
機密文書ヲ掌リ大臣次官ノ官印及省印ヲ
管守ス

第二十六條

大臣官房ハ大臣親展ノ文書機
密事務所部官吏ノ進退身分ニ関スル事務
及大臣ニ屬スル一切ノ事務ヲ掌ル
所部官吏ノ進退身分ニ関スル事務ハ各省ノ
便宜ニ從ヒ總務局中一課ニ於テ處理スルコ
トヲ得

第二十七條

各省ノ官吏ノ進退身分ニ関スル事務ハ各省ノ
便宜ニ從ヒ總務局中一課ニ於テ處理スルコ
トヲ得

第三十七條

秘書官ハ奏任トス大臣ニ專屬シテ
官房ノ事務ヲ掌ル
秘書官ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十四條

秘書官ハ臨時命ヲ承テ書記官
及各局課ノ事務ヲ助ケルコトアルル
各省ノ便宜ニ依リ特ニ秘書官ノ所掌ニ屬セ
シムルモ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

各省ニ置ク

第三十五條

各省中級官ハ全昭ノ事務ニ

第三十八條 各省中省務ノ全部ヲ統轄ス
ル為ニ總務局ヲ置キ省務ヲ分掌スル為ニ
各局ヲ置ク

第三十九條 各省總務局ニ文書課往復
課報告課及記録課ヲ置キ其事
務ヲ分掌セシム但シ其ノ併合兼掌ノ便
宜アルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十八條 各省中省務ノ全部ヲ統轄ス
ル為ニ總務局ヲ置キ省務ヲ分掌スル為ニ
各局ヲ置ク

第三十七條 文書課ハ省中各局成案ノ
四議ヲ審査シ諸文案ヲ起草スル
事ヲ掌ル

第三十八條 往復課ハ凡テ各省ニ到達
スル公文書類及成案文書ヲ接受
シ并ニ發送ノ事ヲ掌ル

第三十九條 文書課ハ各省ニ到達
スル公文書類及成案文書ヲ接受
シ并ニ發送ノ事ヲ掌ル

第三十九條 報告課ハ各局課ニ就キ統計
報告ノ材料ヲ採輯シ統計報告ヲ
調整シテ大臣ノ査閲ニ供シ官報掲
載ノ事項ヲ官報局ニ送致スル事ヲ
掌ル

第三十條 各省ノ公文書類ヲ編纂
シテ各省ノ官報局ニ送致スル事ヲ
掌ル

第三十條 各省ノ公文書類ヲ編纂
シテ各省ノ官報局ニ送致スル事ヲ
掌ル

各省ノ公文書類ヲ編纂
シテ各省ノ官報局ニ送致スル事ヲ
掌ル

第三十四條 各省ノ便宜ニ依リ。特ニ總務局ノ所掌ニ屬セシムルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム。

前數條ニ掲ケタル各課ノ外
 課務

第三十三條 書記官ハ奏任トス大臣又ハ總務局長ノ命ヲ承ケ各省ノ成案ヲ審査シ文書ヲ掌リ又ハ總務局中諸課ノ長ヲ兼テ課務ヲ掌理ス書記官ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム。

各點ニ對シテ一入ノ置ル點ハ奏任トス
 各省ノ便宜ニ依リ。特ニ總務局ノ所掌ニ屬セシムルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム。

三十四

第四十五條

總務局ノ外各局ニ局長局長次長一人ヲ置ク局長局長次長ハ奏任トス各局ニ局長ハ局長次長ヲ置カ不局長次長アレハ局長ヲ置カサルコトアルヘシ
各課ニ課長一人ヲ置ク課長ハ奏任又ハ判任トス

三十一六

第四十六條

局長ハ大臣又ハ總務局長ノ命ヲ承ケテ其主務ヲ掌理シ及各課ノ事務ヲ指揮ス
監督

此ノ條ハ...
局長ハ大臣又ハ總務局長ノ命ヲ承ケテ其主務ヲ掌理シ及各課ノ事務ヲ指揮ス
監督

第四^{三七}十五條 局長又ハ局次長ハ其主任ノ事務ニ就キ其職權ニ屬シ又ハ特別ノ委任ヲ受クルノ事項ハ之ヲ專行スルコトヲ得

局長ハ其主任ノ事務ニ就キ其職權ニ屬シ又ハ特別ノ委任ヲ受クルノ事項ハ之ヲ專行スルコトヲ得

第四十六條 局次長ハ局長ノ事務ヲ佐ク若シ局長ナキトキ又ハ局長ノ事故アルトキハ大臣ノ命ニ依リ局長ノ事務ヲ掌理ス

第三十八條 參事官ハ奏任トス木

法律命令立案解釋及審査學手ル

參事官ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十八條 參事官ハ奏任トス木
法律命令立案解釋及審査學手ル
參事官ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第三十九條 參事官ハ其省ノ便宜ニ從ヒ局

課ノ事務ヲ兼任シ若クハ臨時命ヲ承

ケテ其事務ヲ助クルコトアルヘシ

各省ノ便宜ニ依リ特ニ參事官ノ所掌

ニ屬セシムルハ各省ノ部ニ就テ之

ヲ定ム

第四十七條

試補ハ奏任ニ准シ定期間大

臣ノ指命スル所ニ就キ事務ヲ練習

シ任官ヲ待ツモノトス

各省試補

規則ハ別ニ勅令ヲ以テ

之ヲ定ム

定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第五十條

局中各課ニ課長一人ヲ置キ判任

官ヲ以テ之ニ充ツ課長ハ命ヲ局長

ニ承ク

各省中特ニ奏任官ヲ以テ課長ヲ兼子シ

ルモノハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

第四十一條

屬ハ判任トス各上官ノ
指揮ヲ承ケ書記簿記及計
算ノ事ニ從フ
屬ノ定員ハ各省ノ部ニ就テ之ヲ定ム

~~...~~
...

第四十二條

各省中特ニ補助員ヲ要
シ又ハ顧問員ヲ要スルトキハ每次
狀ヲ具ヘテ閣議ニ提出シ裁可ヲ
請フヘシ

~~...~~
...

第五十三條

各省處務規程中
未取扱順序ハ左ノ條項ニ依リ

トシ

附

附ノ身ハ一ノ附屬ニ對シテ

第五十四條

第五十四條

本省ニ到達スル文書ハ
凡テ總務局往復課ニ接受シ課長
之ヲ取纏メ開封シ件名番號等ヲ
簿冊ニ記入シテ總務局長ノ査閱
ニ供スヘシ

第五十五條 總務局長、其文書ヲ査閲
シ事例規、キカ文、重要ナリ、認ムル
モノ、之ヲ大臣、査閲、其、其他、尋
常ノ件、主務ノ處、指示レ之、檢印レテ
往復課長ニ下付、直ニ之ヲ配付セシ、往復
課長、各局ニ配付スル文書ハ、之ヲ各局往
復主任ノ屬ニ配付ス

第五十六條 大臣親展ノ文書ハ、封皮ノ
上ニ記號シ、記簿ノ後、直ニ大臣又ハ
秘書官ニ送付スベシ

第五十七條 秘書官ハ、大臣親展ノ文書ハ、封皮ノ
上ニ記號シ、記簿ノ後、直ニ大臣又ハ
秘書官ニ送付スベシ

第五十七條 秘書官ハ大臣親展ノ文書及
往復課ヲ經スシテ各局課ヨリ送付スル
文書ヲ受領シタルトキハ其番號ヲ簿冊ニ
記シ直ニ之ヲ大臣ニ提出ス決裁濟ノ文書
ハ其主務ノ處ニ送付シ受領者ノ檢印
ヲ要スヘシ

第五十八條 凡ソ送付ノ文書ハ送付
記銘簿ニ受領者ノ檢印ヲ要ス

第五十八條 凡ソ送付ノ文書ハ送付
記銘簿ニ受領者ノ檢印ヲ要ス

第五十一條 各局長ハ大臣又ハ次官ヨリ
事務ノ處分方ヲ受ケ又ハ往復課長ヨリ
文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ各其主務ニ
従ヒ各課長ニ文書ヲ配付シ其緩急ヲ
示シ其處分方ヲ授ケテ速ニ之ニ從事
セシムルニ

第四十三條 各局課長ハ^{主務}受領ノ文書ヲ處
理スルニ當リ^{各省大臣定ル所期程ヲ起}定期ヲ經過スルヲ得ス
若シ事件ノ^{繁難}錯綜ナルク或ハ數局課ニ聯
帶シテ時日ヲ要スルノ見込アルトキハ凡ソ其時
日ヲ定メ豫メ次官ノ允許ヲ受クルヲ要ス
但文書ヲ處理スルノ定期ハ各省ノ定ル
所ニ依ル

第六十一條 事務ノ進行ニ關シテ
各省大臣ノ命令ニ依リテ
各省大臣ノ命令ニ依リテ
各省大臣ノ命令ニ依リテ
各省大臣ノ命令ニ依リテ

第十四條

事務ノ局課ニテ處分案ヲ起草シ關係局課ノ檢印ヲ要スヘシ若シ彼此見テ異ニスルトキハ面議高量シ尚決セサルトキハ直大臣又ハ次官ニ面陳シテ決裁ヲ請フ附箋ヲ以テ應答スルヲ許サス

第十五條

各局課調査濟ノ成案ハ其ノ各局專行ノ事務ニ係ルモノヲ除ク外往復主任ノ屬リ之ヲ往復課ニ回付シ往復課ハ直ニ之ヲ總務局長ニ提出シ總務局長ハ査閲ノ上大臣ノ決裁ヲ請フヘシ總務局長大臣ノ代理ヲ為シ又ハ委任ヲ受クル事件ハ査閲ヲ経テ直ニ施行スヘシ

第十六條

各局課調査濟ノ成案ハ其ノ各局專行ノ事務ニ係ルモノヲ除ク外往復主任ノ屬リ之ヲ往復課ニ回付シ往復課ハ直ニ之ヲ總務局長ニ提出シ總務局長ハ査閲ノ上大臣ノ決裁ヲ請フヘシ總務局長大臣ノ代理ヲ為シ又ハ委任ヲ受クル事件ハ査閲ヲ経テ直ニ施行スヘシ

第十四條 事務ノ局課ニテ處分案ヲ起草シ關係局課ノ檢印ヲ要スヘシ若シ彼此見テ異ニスルトキハ面議高量シ尚決セサルトキハ直大臣又ハ次官ニ面陳シテ決裁ヲ請フ附箋ヲ以テ應答スルヲ許サス

第六十三條

總務局長ニ於テ各局課ノ
成案ニ異議アルトキハ各局長ニ命ジテ
之ヲ修正セシメ又ハ大臣ノ旨ヲ承テ各局
長ニ指揮ヲ為スコトアルヘシ

第六十四條

大臣及次官ノ決裁ヲ經タル文書ハ
往復課ニ於テ淨書シ秘書官ニ就キ大臣ノ印ヲ
鈐シ件名番號等ヲ簿冊ニ記入シテ直ニ
發送ス其原文書ニハ交付發送ノ年月日ヲ
記シ往復課長之ニ檢印シテ主務ノ處ニ返付
スヘシ

第六十四條

大臣及次官ノ決裁ヲ經タル文書ハ
往復課ニ於テ淨書シ秘書官ニ就キ大臣ノ印ヲ
鈐シ件名番號等ヲ簿冊ニ記入シテ直ニ
發送ス其原文書ニハ交付發送ノ年月日ヲ
記シ往復課長之ニ檢印シテ主務ノ處ニ返付
スヘシ
各局課長ノ名ヲ以テ施行スルモノハ其局課ニ於テ淨寫
押印シテ往復課ニ移ス往復課ハ其件名番號等
ヲ簿冊ニ記入シテ之ヲ發送ス

第六十五條
第六十六條
第六十七條
第六十八條
第六十九條
第七十條
第七十一條
第七十二條
第七十三條
第七十四條
第七十五條
第七十六條
第七十七條
第七十八條
第七十九條
第八十條

第六條 至急又ハ機密ノ文書ハ通常ノ手続ニ依ラ
ス便宜主任者ニ於テ自ラ携帶シテ諸局ノ議ヲ取リ
並官房ニ提出スルコトヲ得其次第裁濟施行ニ至ル迄ノ
順序モ亦便宜ニ從ヒ別ニ至急機密文書ノ件名簿
ヲ調製シテ之ヲ登録スルコトヲ得

第六條 至急又ハ機密ノ文書ハ通常ノ手続ニ依ラ
ス便宜主任者ニ於テ自ラ携帶シテ諸局ノ議ヲ取リ
並官房ニ提出スルコトヲ得其次第裁濟施行ニ至ル迄ノ
順序モ亦便宜ニ從ヒ別ニ至急機密文書ノ件名簿
ヲ調製シテ之ヲ登録スルコトヲ得

第六條 文書調査ノ為ソ他ノ官署ニ照會ヲ要スル
トキハ往復課ヲ經ス各局課長ノ名ヲ以テ往復スル
コトヲ得

第六條 文書調査ノ為ソ他ノ官署ニ照會ヲ要スル
トキハ往復課ヲ經ス各局課長ノ名ヲ以テ往復スル
コトヲ得

第五十條 往復課長ハ各局課ニ配賦シタル文書ノ日
限ヲ計算シ善シ故ナクシテ日限内ニ往復課ニ面付セ
サルモノアルトキハ其件名及局名ヲ總務局長ニ報
告スヘシ

第六十條 往復課長ハ各局課長ニ對シテ其配賦シタル文書ノ日
限ヲ計算シ善シ故ナクシテ日限内ニ往復課ニ面付セ
サルモノアルトキハ其件名及局名ヲ總務局長ニ報
告スヘシ

第六十條 本官ノ命ニ依リ一時廢分ヲ為スラ要トスル
テ留置スルキ文書ハ總務局長ニ於テ之ヲ保管
スヘシ

第七十一條 各局課ノ文書處分濟ノモノハ之ヲ記録
局又ハ記録課ニ送付ス其機密ニ屬スル文書ハ別
ニ大臣ノ命スル所ニ依リ秘書官之ヲ保管スルコト
ルベシ

第七十二條 各省ノ會計事務ハ
各省ノ會計事務ハ
各省ノ會計事務ハ

第四十六條 各省ノ會計事務ニシテ別段法律
勅令ニ依テ定メタルモノヲ除ク外金銀出納
關シテ左ノ條項ニ依ラシム 各省ノ會計事務ハ
各々其ノ官制ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十三條 各省會計局ハ其省及所轄廳費ノ豫
算決算者中ノ會計事務及所轄ノ地所建物ニ關スル
事務ヲ掌ラシム局中出納課検査課及用度課ヲ
置キ其事務ヲ分掌セシム

各省會計局ハ其省及所轄廳費ノ豫
算決算者中ノ會計事務及所轄ノ地所建物ニ關スル
事務ヲ掌ラシム局中出納課検査課及用度課ヲ
置キ其事務ヲ分掌セシム

第七十四條 出納課ハ其省及所轄廳費ノ豫
算決算金錢ノ出納諸帳簿ノ整理并計算
表ノ調整ヲ掌ル

第七十五條

検査課ハ金銭出納ノ當否及各般ノ證書ヲ検査スルコトヲ掌ル
用度課購入ノ物品ハ臨時局長ノ命ヲ承ケ
検査スルコトナルヘシ

本條ノ規定ニ依リテ
其ノ其ノ金銭出納ノ當否ハ
臨時局長ノ命ヲ承ケ
検査スルコトナルヘシ

第七十六條

用度課ハ所轄ノ地所建物其他
一切ノ需用品ニ関スル事務ヲ掌ル

本條ノ規定ニ依リテ
其ノ其ノ地所建物其他
一切ノ需用品ニ関スル事務
ハ用度課ヲ掌ル

第七十七條 係合并旅費其他一切ノ經費并
收入ニ関スル事ハ出納課ニ於テ之ヲ管理シ其
却度仕出文書ニ依リ出納傳票ニ事由ヲ摘
要シテ局長ニ差出シ局長ニ於テ相當ナリト
思惟スルトキハ検査課ヲシテ検査セシム然
後大臣ハ次官ノ決裁ヲ請ヒ收入及支出ノ手
續ヲ為サレムヘシ

第七十八條 出納課ニ於テハ出納傳票ニ捺ス
ル局長並各課經由ノ檢印ヲ認メテ其出納
ノ帳簿ニ登記シ毎日残額表ヲ製シテ局長
査閱ニ供スヘシ

第七十八條 出納課ニ於テハ出納傳票ニ捺ス
ル局長並各課經由ノ檢印ヲ認メテ其出納
ノ帳簿ニ登記シ毎日残額表ヲ製シテ局長
査閱ニ供スヘシ

第七十九條 凡シ 記簿上ニ謄寫脱字アルモ
一切改描塗抹スルコトヲ許サズ其事由ヲ
詳記シテ主務者之ニ捺印スヘシ

全備ニ外ハシ
凡シ 登簿ニ毎日宛録未ニ集メ、白
〆白入主各款理由、録付、端、其出納
第七十八條 出納簿ニ於テ、出納別冊ニ於テ

第八十條 検査課長 〆局長ノ命ヲ受ケ
臨時局中各般ノ帳簿證書ヲ検査ス
ルコトアルヘシ

凡シ 〆局長ノ命ヲ受ケ、凡シ
突進ノ到量スルコトハ別ノ出納書ニ
〆事柄ノ輕重別ニ白書、帳下ノ計入、
〆天賦前、後、〆、與野、〆、其出納、
第七十九條 〆、全海出納、〆、其出納、

第八十一條

凡シ金銀出納ニ関スル仕出文書ハ定期間ニ於テ之ヲ處理ス、ニ其錯綜スル事件ト雖モ豫メ局長ノ許可ヲ得スニテ定期ヲ経過スルコトヲ得、但仕出文書ヲ處理スルノ定期ハ各省定カル所ニ依ル

凡シ金銀出納ニ関スル仕出文書ハ定期間ニ於テ之ヲ處理ス、ニ其錯綜スル事件ト雖モ豫メ局長ノ許可ヲ得スニテ定期ヲ経過スルコトヲ得、但仕出文書ヲ處理スルノ定期ハ各省定カル所ニ依ル

第八十二條

考査ノ用度課ヨリ其中立ヲ爲シ局長ニ於テ相當トシト思惟スルトモハ檢査課ノ檢査ヲ經大吏又ハ次官ノ許可ヲ得タル後用度課ニ於テ之ヲ掌理セシム、但從前閣議ヲ經テ施行スルモノハ仍ホ舊ニ依ル

凡シ金銀出納ニ関スル仕出文書ハ定期間ニ於テ之ヲ處理ス、ニ其錯綜スル事件ト雖モ豫メ局長ノ許可ヲ得スニテ定期ヲ経過スルコトヲ得、但仕出文書ヲ處理スルノ定期ハ各省定カル所ニ依ル

第八十三條 廳中日常須要ノ物品ハ總テ
用度課ニ於テ管理シ需用ナル毎ニ各局課
長ノ證書ヲ以テ之ヲ請求セシムルコト

定款ノ規定ニ依リテ
各局課長ハ
用度課長ニ
證書ヲ提出スルコト
用度課長ハ
該證書ヲ以テ
各局課長ニ
物品ヲ供給スルコト
用度課長ハ
該物品ノ
管理ニ關シ
各局課長
ニ協同スルコト

第八十四條 用度課ハ省中取締ニ關スル事
務ヲ掌リ及各種ノ物品ニ關スル出入帳簿
ヲ製シ其出入ヲ明確トシムルヘシ

第八十五條 前條掲クル外特ニ會社
所掌ノ屬セシムルモノハ各省ノ部ニ就テ
平定ム